

JAEF REPORT

令和元年7月5日

年4回発行(1,4,7,10月)

(公財)日本自動車教育振興財団 活動報告

【目次】

- ◆ 理事会・評議員会を開催
- ◆ 令和元年度事業計画説明会を開催
- ◆ 令和元年度JAEF研修会の参加者を募集

- ◆ 43都道府県の研修会(221件)に講師を派遣
- ◆ 高校生対象 東京モーターショー 校外学習を支援(参加者募集)

理事会・評議員会を開催

5月10日に第19回理事会が芝パークホテルにて開催され、平成30年度事業報告・決算及び第8回定時評議員会の開催内容等が承認された。それを受け、5月28日に第8回定時評議員会がTKPガーデンシティ品川で開催され、平成30年度事業報告・決算報告及び評議員の一部選任、理事の選任が承認された。

財団は、平成30年度事業報告において、自動車業界が「100年に一度の大変革期」と注目を浴びていることをチャンスと捉え、様々な新しい取り組みにより高等学校に対する支援の強化、高校生の自動車に対する関心の喚起を行い、狙い通りの成果をあげたことが報告された。

具体的には、1つ目の技術教育支援事業では、視聴覚教材の統合・追加、模型教材の追加など提供教材の大幅な見直しを行い、教育効果の更なる向上を図った。そして平成30年度公募対象校（東北・関東の一部、中部、関西地区の15府県の工業高校など）へ、実習用エンジンなど26種類の提供教材を公募案内したところ、15府県102校から応募があり（同対象地域の前回応募実績：平成27年度 101校）、すべての応募校に教材提供を実施した。

2つ目の研修事業では、先生方を対象とした財団主催のJAEF研修会を6回開催し、173名の先生方に参加いただいた。研修内容についても参加された先生方から高い評価をいただくことができた。また高等学校などへの講師派遣については、CASEへの関心が高まっていることから電動化や自動運転に関する講師派遣を生徒対象に拡大したほか、「バイクの交通安全」のテーマを新設した。関係諸団体のご協力により、派遣件数320件・受講人員113,384名と、3年連続で10万人を超える参加者を得た。

3つ目の調査研究事業では、海外調査2回（イギリス・フランス、ノルウェー）、国内調査3回（沖縄県、長崎県、栃木県・埼玉県）を実施し調査内容をまとめると共に、それを基にした広報誌向けの特集記事の作成・掲載や関係者への調査報告を行った。また、新科目『公共』の必修化（2022年度）をにらみ、新副教材の制作に着手した。

…5月10日、5月28日

財団運営



▲第8回定時評議員会の様子



▲定時評議員会後の懇親会の様子

そして最後に普及啓発事業では、全国約5,900校の高等学校に広報誌の提供を重ねると共に、各種媒体を通じて、高校やマスコミへのタイムリーな情報発信を行い、自動車教育の輪をさらに広げることができた。

評議員の一部選任に関しては、4名の退任評議員の後任として新たに4名の評議員が選任された。また、今期は理事・監事の改選期であり、理事11名、監事2名が選任された。（詳細は添付資料「理事・監事・評議員名簿」を参照）

評議員会終了後には自動車関係団体や教育関係団体の方々をお招きし、懇親会が開催された。冒頭の挨拶で内山田理事長は、「財団はいい仕事をしていると皆様に言って頂けるよう、引き続き努力していきたい」と述べ、参加者各位に変わらぬ協力・支援を求めた。

INFORMATION

7~9月予定

- 令和元年度海外交通事情調査を実施（米国） 7月6~13日
- 26都道府県の研修会（68件）に講師を派遣予定 7月~9月
- 審査委員会開催、令和元年度機材提供校を決定 8月上旬
- JAEF研修会を開催 8月
- 自動車技術教育イベントを支援 8月

令和元年度事業計画説明会を開催

…5月29日

普及啓発

財団は5月29日、令和元年度事業計画説明会を日本自動車会館くるまプラザにて開催し、自動車、損保関連マスコミ関係者等12名が参加した。

財団より前年度の実績、及び当年度の事業計画・進捗を説明した後、質疑応答、意見交換を行った。参加者からは、「研修会で取り上げるテーマ・実施タイミングは、関連業界のイベントと連動させることでより訴求力が高まる」、「学校での職業選択訓練にも有用な、業界に対する理解を深められる情報を発信していったらどうか」等との意見が寄せられ、たいへん有意義な会合となった。



▲事業計画説明会の様子

令和元年度JAEF研修会の参加者を募集

…5月27日～

研修

財団は、令和元年度JAEF研修会の募集について、全国の高等学校約5,900校、および当財団メールマガジンに登録された先生方へ案内を行った。本年度は8月から10月にかけて、山口、愛知、東京の各都県にて合計4回開催する。

JAEF研修会は、「交通」「環境」「交通安全」などをテーマとして、全国の高校教諭を対象に実施する財団主催の研修会である。平成4年のスタート以来、関係団体・企業のご協力により、各界の専門家による講演会

と施設見学や体験実習などをセットにして行い、参加された先生方から高い評価を得ている。その結果、昨年度までの先生方の参加者累計は4,400名を超えている。また同研修会は今年度も文部科学省、開催都県の教育委員会および全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会、日本私立中学高等学校連合会、全国公民科・社会科教育研究会の後援・協賛を得ており、財団は全国の高等学校の先生方に積極的な参加を呼びかけている。



▲平成30年度第1回JAEF研修会・体験試乗の様子



▲平成30年度第5回JAEF研修会・見学の様子

【令和元年度JAEF研修会開催計画】

回	開催日	開催場所	講演／講師	関連施設見学・体験実習	参加人数
1	8/5 (月)	マツダ美祢自動車試験場 (山口県美祢市)	【講演】「マツダのクルマづくりの考え方」 【講師】マツダ株式会社 開発責任者	マツダ美祢自動車試験場での安全運転実習	18
2	8/8 (木)	トヨタ博物館 (愛知県長久手市) トヨタ多治見サービスセンター (岐阜県多治見市)	【講演】「TOYOTA GAZOO RACINGの取り組み」 【講師】トヨタ自動車株式会社 GAZOO Racing Company GRパワートレーン推進部 部長 加地 雅哉 氏	トヨタ博物館見学 トヨタ多治見サービスセンター見学・体験	50
3	8/20 (火)	日本自動車会館 (東京都港区)	【講演】「SDGsなど社会変化を見据えた、都市交通の新たな可能性」 【講師】公益社団法人日本交通計画協会 交通計画研究所 企画室 室長 三浦 清洋 氏 【講演】「自転車時代到来と交通安全対策」(仮称) 【講師】特定非営利活動法人自転車活用推進研究会 理事長 小林 成基 氏		40
4	10/24 (木) 特別招待日	東京ベイ有明ワシントンホテル 東京ビッグサイト及び周辺エリア (東京都江東区)	【講演】「100年に一度の大変革期における クルマのイノベーションとCASE対応」(仮称) 【講師】未定	第46回東京モーターショー 見学	120

43都道府県の研修会(221件)に講師を派遣

・・・4月～6月

研修

財団は、自動車の整備技術やハイブリッド技術などの「自動車技術」に関する研修メニュー、および「環境技術」「交通技術」「交通安全」に関する研修メニュー(計17種類)を用意し、高等学校や教育委員会からの要請を受け、専門の講師を派遣している。今年度の4月～6月は、43都道府県(221件)の研修会に専門の講師を派遣し、合計88,982名が受講した。年間で過去最多実績となった前々年度(平成29年度)の同期と比べ、件数で4件、受講者数で約1,500名上回った。

今年度の研修会221件の内、「交通安全」に関する講師派遣要請が208件に上った(「自転車・歩行者から見た道路交通と安全」84件、「ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全」64件、「自転車を取り巻くリスクとその責任」43件、「夜間の交通安全対策」8件、「交通事故を起こして問われる責任」7件、「二輪車の交通安全」2件)。

「環境技術」、「交通技術」に関する講師派遣は4件(「環境技術」、「交通技術」各2件)の要請があった。尚、「交通技術」メニューについては、今年度より「交通技術と社会のあり方(自動運転と紛争解決)」を新設し、申し込みを受け付けている。

その他「自動車技術」に関する要請が9件(「ホンダ・ハイブリッド車について」4件、「トヨタ・ハイブリッド車について」2件、「日産・電気自動車について」2件、「三菱自動車・プラグインハイブリッド車について」1件)であった。

「交通安全」に関する講師は、日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部および日本二輪車普及安全協会に、また「自動車技術」の講師は、ホンダカーズ茨城、ホンダ四輪販売西中国、ホンダ四輪販売南・東北、ホンダ四輪販売長崎、神奈川日産自動車、日産サティオ宮城の各販売会社および三菱自動車工業にご協力をいただいた。

いずれの研修会の参加者からも大変高い評価をいただくことができた。

ご協力をいただいた関係団体・企業ならびに各県の推進協議会の皆様には、紙面をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。

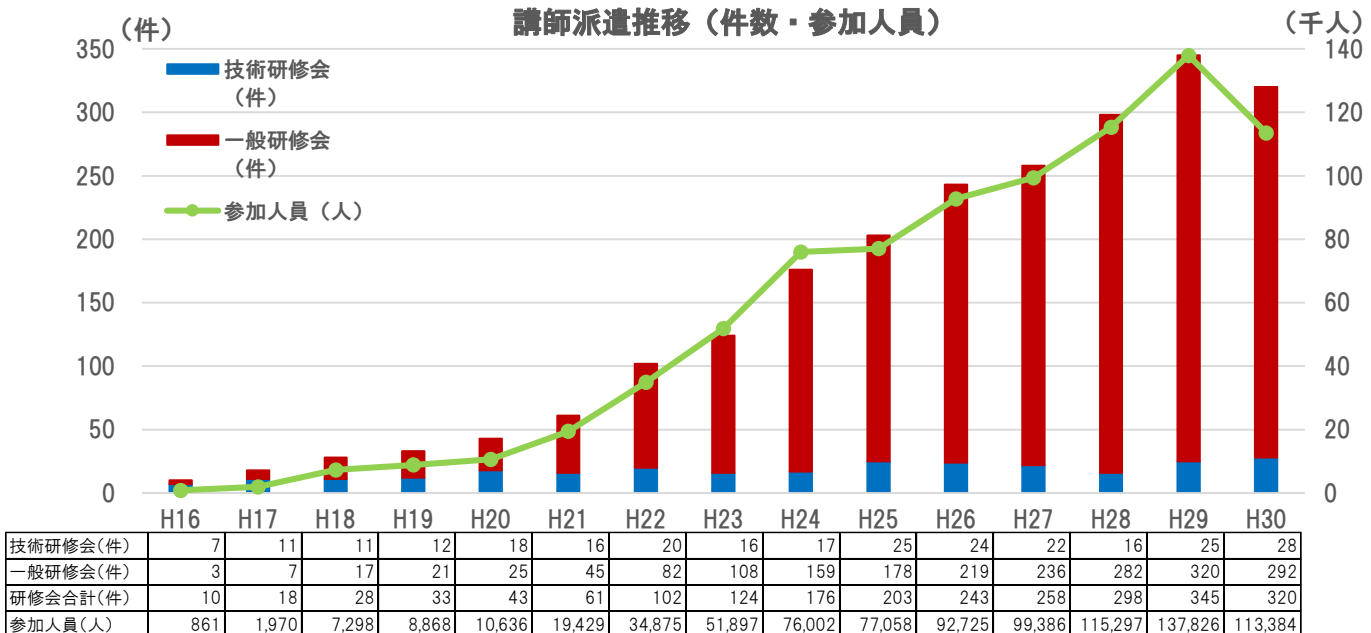


▲山崎学園富士見中学高等学校での交通安全研修会



▲北海道剣淵高等学校での交通安全研修会

【講師派遣実績(平成16年度～平成30年度)】



高校生対象 東京モーターショー 校外学習を支援（参加者募集）

研修

財団は、今年秋に開催される「第46回東京モーターショー2019」*に、高校生を無料で招待する特別プログラムを実施する。

自動車メーカー各社が出展する最先端の車両に触れることで、クルマと自動車産業への関心を高めてもらうことを狙いとして、電動化や自動化などの技術革新で、100年に一度の大変革期を迎えている自動車産業のダイナミズムをクルマ社会の将来を担う高校生に感じてもらう機会を提供する。

財団が高校生を対象に無料招待するのは今年が初めてとなる。今年1月末より、高等学校の修学旅行、校外学習や部活などのグループ・団体見学の場としてホームページで申し込みを受け付けているが、非常に高い関心を寄せていただき、これまでの申込者数は合計で7,700名を超えている。

また、財団では当プログラムを校外学習等として有効に活用していただけるよう、終了後に生徒が提出する校外学習レポートの雛形やモーターショーの見どころをまとめた資料の提供を予定している。

*10月25日（金）から11月4日（月・祝）まで、東京ビッグサイト（江東区・有明）を中心に開催



<お知らせ>

財団では、各事業の活動状況や最新情報をメールマガジンやSNS（Facebook）を通して発信しています。どうぞご覧ください。

メルマガへのご登録はこちらから

<http://jaef.or.jp/test/7-mail-magazine/form.htm>



Facebookはこちらから

<https://www.facebook.com/jaef2019/>

